



山西小学校便り

山西っ子

《なかよく・かしこく・たくましく》



5年生の見学旅行、熊本城・二の丸での昼食風景。

令和2年10月23日(金) no.29 文責：上田

感染症予防に多くの支援が

10月22日現在、県下はリスクレベル4(特別警報)が維持されていることはご存じかと思えます。本校でも、毎日の手指消毒や教室等の物品消毒などの感染防止策を通じて、子どもたちの安全・安心に配慮した教育活動に努めているところです。

そんな中、先日来、多くの関係機関から児童用マスクや手指消毒液などを寄付いただいています。ありがとうございます。

《マスクとティッシュ》

- 非接触型体温計1セット・・・熊本県PTA教育振興財団
- 物品消毒液20L 熱中症対策飴15個×50袋
ウェットティッシュ55枚×6・・・県より他町避難所物品
- マスク50枚×30袋・・・岡山公設国際貢献大学校
- 手指消毒液5L×3本 マスク50枚×30箱・・・阿蘇法人会



《非接触型体温計》



22日(木)、阿蘇法人会(婦人部)の高森町：福永さん・西原村：内田さんが消毒液とマスクをもって来校。「子どもたちのために役立ててほしい」と話されていました。

寄贈いただいた物品は、学校で感染防止対策のために使用させていただきます。

また、村当局からは、様々な感染症予防のための措置を講じていただいております。教育環境の整備にも役立てています。

研修で先生方も学びを深めています

学級通信の時間割に、職員研修のために下校時間の変更が連絡されていることがあります。実は、意外にご存じないかとも思いますが、教職員には、法令等で教育公務員として研修が課せられています。毎週水曜日の放課後の校内研修の他にも、今月は21日の人権教育、28日の村教育研究会、来月20日の特別支援教育などの村や校内で行う研修、阿蘇郡市や国や熊本県で主催される研修などもあります。

日々の校務はもちろん、**研修**を通じて先生方は「**研究**」と「**修養**」を積んでおられます。研修により指導力の向上を図り、子どもたちの教育に生かすためです。